

2026年1月19日

各位

日本航空宇宙学会 関西支部 研究分科会  
「航空宇宙産業の革新」  
代表 吉河 章二

2025年度の第1回研究分科会を以下のように開催することとなりましたので、ご案内申し上げます。史上初の民間企業による月ミッション実施を掲げ、開発と実証を進めている株式会社 iSpace の現在地点とこれからについて、ざっくばらんにお話をしていただけると存じます。ご多忙のことと存じますが、ご興味のある多数の皆様のご参加をお待ちいたします。

記

2025年度 第1回研究分科会（航空宇宙産業の革新）

日時：2026年2月9日（月）11:00～12:30（質疑込み）

会場：オンライン（Teams）

ミーティングリンクは、後日、参加申込者にお知らせいたします。

参加登録：下記のGoogle フォームから参加登録をお願い致します（申込〆切 2月6日）。

参加費は無料です。 <https://forms.gle/8D4ygCyGcpv3D1TM7>

講演題目：iSpace のMission1,2 を振り返り、将来の月面探査ミッションについて考える

講演者：iSpace, inc.

Corporate Strategy Group, Manager

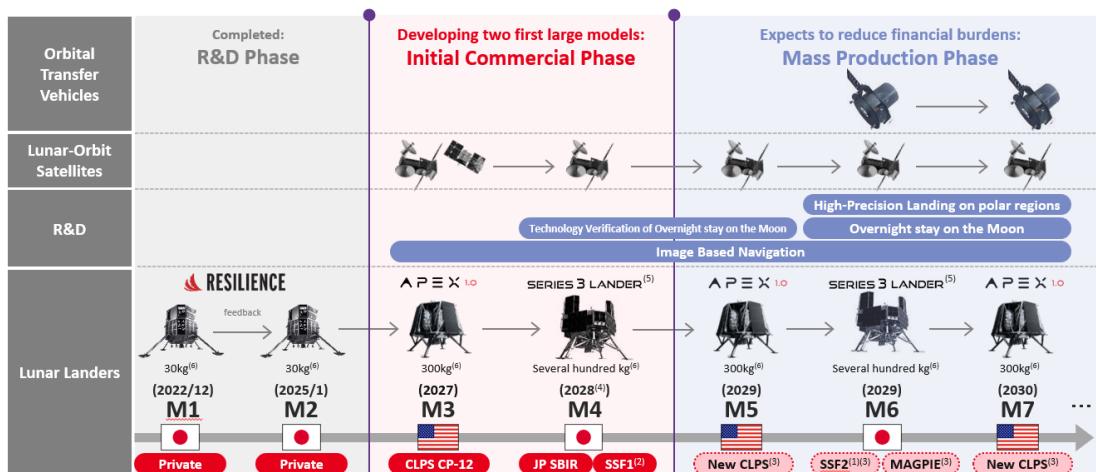
中上 穎章（なかうえ よしあき）様

講演概要：

当社は、地球-月に囲まれた Cislunar 空間に経済圏を創ることをビジョンに掲げ、月輸送やインフラ構築に係る技術開発・事業を行っています。実際に月への輸送・着陸ミッションをこれまでに2回実施し、多くの成果と知見を得ましたが、残念ながら着陸結果自体は我々が期待するものではなく、反省も忸怩たるものもありますが、しっかりと原因分析を行い、透明性高く丁寧に説明・発信し、そして次期ミッションにしっかりとつなげていくことが、これからも私たちの大きな責任と考えております。

本講演の場をお借りして、改めて、当社のビジョンやこれまでの Mission1/2 を振り返り、そして将来ミッションの現状や展望を共有させて頂きます。忌憚ないご意見を頂ければ幸いです。

以上



図：当社のミッション計画